

## 羽島市民病院運営委員会要録

開催日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）14 時 00 分～15 時 20 分

開催場所：羽島市民病院 診療棟 3 階 講義室

### 【出席者】

（委員長）市及び病院を代表する者	成原 嘉彦（羽島市副市長）
（委員）知識経験者	豊島 信征
知識経験者	前田 京子
医師会の推薦した市内の開業医	田中 吉政
医師会の推薦した市内の開業医	岩佐 充矩
医師会の推薦した市内の開業医	小川 昭俊
医師会の推薦した市内の開業医	河合 清隆
医師会の推薦した市内の開業医	黒田 淳
市及び病院を代表する者	大角 幸男（羽島市民病院長）

（事務局）松井聡羽島市長、山田卓也副院長、大宮史朗副院長、村瀬全彦副院長、浅井朱門事務局長、大内義秋事務局次長、南谷渉総務課長 武藤英理看護部長、酒井勉診療部長、今尾幸則診療部長、小島三紀副看護部長、兒玉浩敏総務課主幹、中川千草病診連携上席看護師長

### 【欠席者】

（委員）知識経験者 岩田 千里

### 【事務局】

只今より平成 29 年度羽島市民病院運営委員会を開催します。委員の任期満了に伴いまして、昨年 11 月に改めて皆様方に委嘱をさせていただきました。今回新たに委嘱させていただいた前田京子委員様でございます。その他の委員の皆様は再任させていただいておりますので、羽島市民病院運営委員会名簿にて紹介とさせていただきますので、ご了承願います。なお岩田千里委員におきましては、ご都合が悪いということで欠席の連絡をいただいておりますのでご報告させていただきます。本日の病院の出席者につきましては、お手元の資料にてご報告させていただきます。それでは開催にあたり当院開設者であります松井羽島市長よりご挨拶いただきます。

### 【羽島市長】

みなさんこんにちは。開業医の先生方におかれましては、お忙しい中出席賜りましてありがとうございます。また知識経験者の皆様にもご多忙の中ご出席賜りまして厚く御礼申し上げます。今年度はタウンミーティングを開催し、医療拠点としての病院、救急車の説明、麻酔科医・放射線読影医が退職したことにより、複数の大学病院にも足を

運ぶが医師の任用が厳しい状況であることを説明した。土岐市立病院の JA 病院との統合が取り上げられているが、羽島市発足の共通理念である市民病院を残したい。平成 29 年度決算見込みについて意見を頂戴したい。

#### 【事務局】

本日の運営委員会は、羽島市民病院運営委員会規則第 6 条の規定により市長が招集させていただきました。本日の委員会は委員の方の過半数を超える出席をいただいております。同規則第 7 条の規定を満たしておりますので、会議が成立することをご報告申し上げます。また委員会の審議内容につきましては、公開扱いとなっておりますので、後日ホームページ等で審議内容を公表いたしますことを申し添えます。それでは只今より、委員会を始めたいと存じます。議長の選出につきましては羽島市民病院運営委員会規則第 5 条にございますとおり、委員の互選によって定めると規定されております。議長の選出についてどのようにしたらよいか皆様にご意見を伺います。事務局一任との発言がありましたので事務局一任させていただきます、事務局案として羽島市副市長の成原嘉彦様に議長をお願いしたいと存じます。なお本日の会議は 1 時間半程度を予定しております。

#### 【議長】

これより議長を務めさせていただきます。本日は 4 名の方から傍聴の申し出がございましたのでこれを認めます。

傍聴の方は入ってください。傍聴の方に申しあげます。傍聴につきましては羽島市審議会等会議に関する要綱第 8 条に係る事項を順守していただき会議の円滑な進行にご協力を願います。

それでは議事に入る前に改めて会議資料の確認を行いたいと思います。事務局からお願いします。

#### 【事務局】

それでは改めまして主な資料をご紹介します。本日の「会議次第」に続いて、「羽島市民病院運営委員会規則」「羽島市民病院運営委員会名簿」「羽島市民病院運営委員会席次表」「議題 1 新公立病院改革プランにおける平成 29 年度決算見込について」「附属資料平成 29 年度紹介率・逆紹介率」「参考資料新公立病院改革プランの概要」以上不足等ございましたらご連絡ください。

議題 1 の資料の説明の前に、新公立病院改革プランについて少しご説明させていただきます。

この新公立病院改革プランは、平成 27 年 3 月に総務省から発出されました、新公立病院改革ガイドラインに基づき、平成 28 年度に策定したものでございます。策定にあたりましては、昨年度の当委員会におきましても、ご意見を賜ったところでございます。

対象期間を平成 29 年度から平成 32 年度までとして策定しております。

当ガイドラインでは、その実施状況をおおむね年1回以上有識者や地域住民の方、当該病院の医師等の参加を得て点検・評価を行うことが望ましいとされておりますことから、今委員会においてご協議いただくことをお願いするものでございます。

それでは、議題資料についてご説明させていただきます。

資料1枚目でございますが、この資料は病院事業の収支状況を計画目標値と決算値、見込値を平成28年度と平成29年度ごとに表にしたものでございます。

このうち、平成28年の決算値は確定した数値でございますが、平成29年度は決算見込の数値を試算した数値でございます。平成28年度については既に公表されておりますので、平成29年度の見込値についてご説明申し上げます。

収入につきましては、大きく分けて1の医業収益と2の医業外収益でございます。

まず、1の医業収益でございます。平成29年度は51億9,100万円を見込んでおります。

計画に対しまして95.5%で、対前年度2億2,200万円の減でございます。

この要因といたしましては、入院患者数が常勤医師が減少したことなどにより、減少しており、外来患者数が、かかりつけ医制度の浸透、精神科の休診等により減少していることによるものがございます。

次に2の医業外収益でございます。平成29年度は7億2,600万円を見込んでおります。

計画に対しまして98.7%で、対前年度2億2,300万円の増でございます。

この要因といたしましては、昨年度は補正予算で計上した一般会計繰入金を特別利益に計上しましたが、平成29年度は当初予算として医業外収益に計上していることによるものでございます。

以上、医業収益と医業外収益を合計した(C)欄の経常収益につきましては、平成29年度は59億1,700万円を見込んでおります。計画に対しまして95.9%で、前年度と比較しほぼ同額でございます。

次に支出でございます。支出につきましては、大きく分けて1の医業費用と2の医業外費用でございます。

まず、1の医業費用でございます。平成29年度は57億6,900万円を見込んでおります。

計画に対しまして97.1%で、対前年度2億6,000万円の減でございます。

この要因といたしましては、職員給与費の減、減価償却費の減、診療材料費の減等によるものでございます。

次に2の医業外費用でございます。平成29年度は2億1,800万円を見込んでおります。

計画に対しまして91.6%で、対前年度1,400万円の増でございます。

この要因といたしましては、MRI更新等に伴う消費税負担額の増によるものでございます。

以上、医業費用と医業外費用を合計した（F）欄の経常費用につきましては、平成29年度は59億8,700万円を見込んでおります。計画に対しまして96.9%で、対前年度2億4,500万円の減でございます。

次に一番下の損益等でございます。

医業損益は、医業収益と医業費用の収支でございますが、計画に対しまして113.9%で、対前年度3,700万円減少し、改善しております。

経常損益は、医業収益と医業外収益の合計と、医業費用と医業外費用の合計との収支でございますが、計画に対しまして749.0%、対前年度2億4,600万円改善しております。

特別損益につきましては、先ほどもご説明しましたが、昨年度は補正予算で計上した一般会計繰入金を特別利益に計上しましたが、平成29年度は当初予算として医業外収益に計上していることにより、2億5,800万円の減となっております。

一番下の純損益でございますが、平成29年度は△1億1,200万円を見込んでおります。

以上、平成29年度の収支につきましては、計画に対して医師の退職等により収入が減少しておりますが、支出を削減しており、全体として決算見込みの規模が縮小しているという状況で、対前年度では純損益は1,100万円のマイナスとなっておりますが、医業損益、経常損益では好転を見込んでいるところでございます。

次に資料2枚目でございますが、『2. 経営指標に係る数値目標と実績』でございます。

まず、1 収支改善に係るものとしまして、経常収支比率は、平成29年度は98.8%を見込んでおります。計画に対しまして99.0%の達成率で、対前年度3.9ポイントの増でございます。

医業収支比率は、平成29年度は90.0%を見込んでおります。

計画に対しまして98.4%の達成率で、対前年度0.2ポイントの増でございます。

この2つの指標につきましては、100%以上が望ましいとされる指標でございますが、

入院外来収益が減少している一方で、給与費、材料費の減によりまして、前年度と比較し改善すると見込んでおります。

次に 2 経費削減に係るもの でございます。

職員給与対医業収益比率が、平成 29 年度は 67.0%を見込んでおります。

計画に対しまして 96.9%の達成率で、対前年度 1.4ポイントの減でございます。

材料費対医業収益比率が、平成 29 年度は 18.7%を見込んでおります。

計画に対しまして 99.3%の達成率で、対前年度 0.4ポイントの減でございます。

この2つの指標につきましては、割合が低いことが望ましいとされる指標でございますが、同じく給与費の減、診療材料費の減によりまして、前年度と比較し改善すると見込んでおります。

次に時間外勤務時間数削減率でございますが、こちらにつきましては、欄外の※1に記載しておりますが、平成 26 年度の実績と比較した削減率でございます。

平成 29 年度は 32.9%を見込んでおります。

計画に対しまして看護師の勤務体制を見直したこと等により大幅に削減できており、前年度と比較し 15.4%低下しています。

次に 3 収入確保に係るもの でございます。

入院収益に関するものとしましては、病床利用率、1日平均入院患者数、入院単価の3つでございます。

病床利用率が 75.6%、稼働病床では 80.7%、達成率 94.5%、対前年度 2.6ポイントの減でございます。

1日平均入院患者数が 205人で、達成率 94.5%、対前年度 7人の減を見込んでおります。

入院単価が 44,378円、達成率 100.3%、対前年度 718円の減を見込んでおります。

以上、入院収益に関する3つの指標につきましては、一般病棟において利用率が減少していること等から、前年度対比では減少することを見込んでおります。

次に外来収益に関するものとしましては、1日平均外来患者数、外来単価の2つでございます。

1日平均外来患者数が 570人で、達成率 86.1%、対前年度 61人の減を見込んでおります。

外来単価が 11,404円、達成率 113.4%、対前年度 856円の増を見込んでおります。

以上、外来収益に関する2つの指標につきましては、

1日平均外来患者数は、かかりつけ医制度の浸透、精神科の休診が主な要因により減少を見込んでおりますが、外来単価は、地域医療機関との連携における当院の役割とし

て、検査、治療を推進したことにより、計画に対しても達成しておりますし、前年度対比でも増加することを見込んでおります。

次に 4 経営の安定性に係るもの でございます。

常勤医師数、常勤看護師数、看護師離職率の3つでございます。

常勤医師数が28人、達成率96.6%、対前年度3人の減でございます。

常勤看護師数が209人、達成率96.8%、対前年度12人の減でございます。

看護師離職率が9.8%、達成率76.5%、対前年度1.0ポイントの増でございます。

以上の3つの指標につきましては、常勤医師については、消化器内科医、麻酔科医、精神科医の退職、常勤看護師の減については、結婚、出産、育児等による退職が主な要因でございます。

次に同じく資料2枚目、『3. 医療機能等指標に係る数値目標と実績』でございます。

1 医療機能・医療品質に係るもの でございます。

紹介患者数、逆紹介患者数、救急入院患者数の3つでございます。

紹介患者数が6,550人、達成率78.0%、対前年度45人の増でございます。紹介患者数につきましては、放射線科医の退職等により計画に対し少なくなっておりますが、前年度との比較では増加を見込んでおります。

逆紹介患者数が7,500人、達成率85.6%、対前年度434人の増を見込んでおります。

逆紹介患者数につきましては、計画に対し少なくなっておりますが、前年度との比較では精神科の休診により専門診療科を有する他の医療機関への紹介が生じたため、一時的ではございますが大きな増加を見込んでおります。

救急入院患者数が1,760人、達成率87.1%、対前年度119人の減でございます。

救急入院患者数につきましては、救急車以外では前年度と同程度を見込んでおりますが、市全体の救急車搬送件数の減に伴い減少を見込んでおります。

次に 2 その他 でございます。

市民公開講座参加者数でございます。

この指標は、当院が地域医療のハブ病院として、地域との絆重視の医療サービスを提供していくことを掲げているため、選択した指標でございます。平成29年度は461人で、達成率62.3%、対前年度60人の減でございます。

毎年1回開催している不二羽島文化センターでの市民公開講座での出席者が減少したことが主な要因でございますが、院内での市民公開セミナーは前年度と比較し増加しております。

つづきまして、資料3枚目 4 具体的な取り組み実績 と 5 全体を通しての分

析・評価 をそれぞれ文章でまとめたものでございます。

概要をご説明させていただきます。

まず、4 具体的な取組み実績でございますが、3つの重点課題のもと施策を策定し組織横断的に取り組んでおります。

1つ目の「地域との絆重視の医療サービスを提供する」でございますが、

○地域医療機関、介護施設等との連携強化に向けて定期的に「羽島メディカルカンファレンス」「症例検討会」「勉強会」等に取り組んでおります。

また、歯科医師会と口腔ケアの講習会を開催するなど連携を進めています。

○また、ホームページをはじめとした各種メディア、市民公開セミナー、タウンミーティングにより地域住民に対して情報共有を行っております。

2つ目の「地域に必要とされる医療提供体制を充実する」でございますが、

○多職種による組織横断的に新たな認知症ケアへの取り組みなどチーム医療提供体制の充実に努めております。

○また、地域に必要な医療提供体制の構築に向けて、医師については、臨床研修医の採用や大学からの非常勤医の受け入れに努めるとともに、看護師については、各看護師養成機関への働きかけ、実習生の受け入れ、就学資金等の貸し付けや専門資格取得の支援などを行っております。

3つ目の「変化に対応する弾力的な経営をする」でございますが、

○ベンチマーク分析による診療材料の価格交渉の強化、採用品の見直し、ジェネリック医薬品の使用促進をするなど、材料費の抑制に取り組んでおります。

○また、常勤医の時間外勤務の削減のため非常勤医の活用、看護師の時間外勤務の削減のため、勤務体制の見直しを行っております。

○また、経営管理体制の強化を目的とした会議体の見直しや、平成 30 年度診療報酬改定に向けた対応、体制づくりに取り組んでおります。

5 全体を通しての分析・評価でございますが、

先ほど、収支、指標のところ、それぞれご説明させていただきましたとおり、新公立病院改革プランの初年度となる平成 29 年度は常勤医 3 名の減員に伴う収益減の影響が大きく、入院・外来収益ともに減収の見込みとなりました。

一方、給与費の減少、医療機器等のリース資産の償却終了による減価償却費の減少、診療材料費の削減等により、医業費用は前年度と比較し減少することを見込んでおり、診療に対する収益と費用の収支である医業損益は、計画対比では未達でございますが、前年度より改善する見込みとなっております。

一般会計繰入金は、平成 28 年度には補正予算を計上しておりましたが、平成 29 年度の一般会計繰入金の合計は減少しており、経常損益は改善することを見込んでおります。

常勤医をはじめ、医療従事者の確保・育成により医療提供体制の維持・充実を図りながら、地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護連携、経営の効率化に引き続き努めてまいります。

以上で、事務局より議題資料の説明を終わらせていただきます。

なお、資料 2 ページ目の紹介患者数、逆紹介患者数の附属資料として「平成 29 年度 12 月までの紹介率・逆紹介率」を配布させていただいております。

また、もう一つの参考資料「新公立病院改革プランの概要」は昨年度作成しました新公立病院改革プランの概要の写しでございます。

【委員】

麻酔医が減ったことによる減少はどれくらいであったか

【事務局】

件数は昨年と比較して 12 月現在で 122 件、約 16%減少しています。内容としては小児の上腕の手術ができない。非常勤の麻酔医により件数はそれほど減少していない。

【委員】

時間外勤務が減少したが、どういう理由ですか。

【事務局】

医師の時間外勤務は減少するように引き続き努力しているのと、看護師には引き継ぎの方法を変更するなど見直しをしています。

【委員】

経営は改善しているということですが、平成 29 年度の繰入金はわかりますか。

【事務局】

平成 28 年度は 9.47 億円 平成 29 年度は 9.21 億円で 2652 万円の減少となっております。

【羽島市長】

厚生労働省の会議にて、麻酔医の不足について質問をした。麻酔医の不足については重要な関心を持っていて、当市でも愛知県や福井県、各市大等に依頼に行くが厳しい状況である。多くの病院が多大な影響を受けることから切実な問題と認識している。

【委員】

今年度開催したタウンミーティングのご意見について教えてほしい。

【事務局】

主に 4 種類あり、医療の現状について急性期と回復期を使い分けていく。経営に関する



る努力を引き続きしていく。救急車が来てから救急車がすぐに出発しない件についての説明。医療職の確保を引き続きお願いしたい。

【委員】

紹介率・逆紹介率の表現の仕方について、外に出るのはどちらの表なのか。

【事務局】

他院と比較に用いるのは附属資料のほうになります。初診患者の定義は病院によって異なるため比較しづらい。

【委員】

精神科があったなら目標は達成していたのか。

【事務局】

昨年度は概算 4000 万円の収入があった。他の科がカバーしたことによるものです。

【病院長】

外来は頑張ったが、1 日平均外来患者数は 61 人ぐらい減少している。そのうち精神科は 30 人から 35 人なので他の科で 20 人から 25 人減少している。

【委員】

小児科医師も 1 人減少している。市民病院が充実していると信じて紹介しているのでよろしくをお願いします。

【委員】

一般市民として病院の評判が良くないというのが多々ある。身内に何かあった場合、こちらを利用していいのか。市民が安心して利用できる総合病院であってほしい。

【委員】

かかりつけ医を持っていれば紹介される。病院ではどういう対応しているのかわかっている。かかりつけ医に相談していただくことが重要です。どこに紹介したらよいか考えているので大丈夫です。

【委員】

骨折手術はしないのか。

【事務局】

全身麻酔が必要な患者は転送している。

整形外科医は 2 人しかいない。上腕の手術は断っている。

麻酔科医がいない場合、何かあった場合のことを考えるため、断っているのが現状。

【委員】

整形外科に対する理解が市民に伝わっていない。手の手術で転送されたという風評被害があるのではないか。

【事務局】

麻酔科医が不在の場合は、患者ファーストで行きたい。

【羽島市長】

整形外科医、麻酔科医の補充について、毎年岐阜大学医局の担当教授や学長に直接依頼している場合もある。行政として国や県にも要望は出していきます。

第2の土岐市民病院にならないように努力をしていくので助勢を賜りたい。

【議長】

改革プランの3枚目、再編ネットワーク化について平成32年度に岐阜圏域における動きはありますか。

【事務局】

再編まで含めた検討ではない。

【委員】

地域医療調整会議において、外来は人口が減少していくため減少するのは当然なので、救急医療や入院を充実していかなければならない。

【議長】

その他意見がないようなので終了します。

【事務局】

日時は未定ですが、次年度も開始予定ですので出席をお願いします。

以上で本日の委員会の案件はすべて終了いたしました。

これをもちまして平成29年度羽島市民病院運営委員会を終了いたします。